

製品名: グルココルチコイド受容体ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe02037**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB, ICC/IF
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.53mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000, ICC/IF 1:50-1:200
分子量	Calculated MW: 87 kDa; Observed MW: 94,91 kDa

抗原情報

遺伝子名	Nr3C1
別名	GR; GCR; GRL; GCCR; GCRST
遺伝子 ID	14815.0
SwissProt ID	P06537
免疫原	マウスグルココルチコイド受容体の組み換えタンパク質

背景

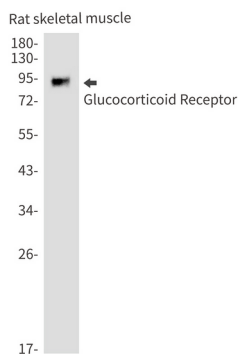
グルココルチコイド受容体（GC）。グルココルチコイド応答配列（GRE）に結合する転写因子として、また他の転写因子のモジュ

レーターとして、2つの作用機序を有する。標的組織における炎症反応、細胞増殖および分化に影響を与える。クロマチンリモデリングに参与する。標的 mRNA の 5' UTR に結合し、リガンド依存的に PNRC2 と相互作用することで mRNA の急速な分解に関与し、RNA ヘリカーゼ UPF1 および mRNA デキャッピング酵素 DCP1A をリクルートして RNA を分解する。成長ホルモン (GH) 刺激による STAT5 依存性転写のコアクチベーターとして作用し、肝臓 GR が身体の成長制御において重要な役割を果たす可能性を示唆する。

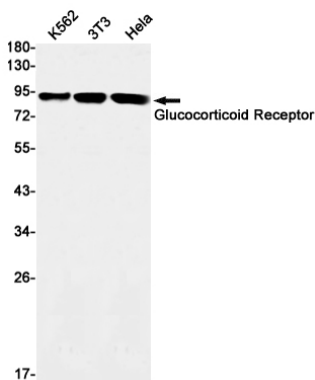
研究分野

シグナル伝達

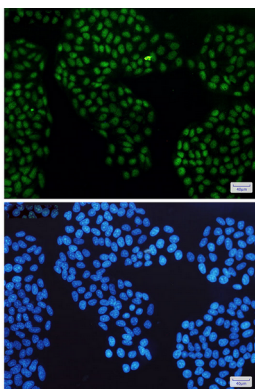
画像データ



グルココルチコイド受容体抗体を用いたラット骨格筋溶解物中のグルココルチコイド受容体のウエスタンブロット分析。



グルココルチコイド受容体抗体を使用した、K562、3T3、HeLa 溶解物中のグルココルチコイド受容体のウエスタンブロット分析。



グルココルチコイド受容体抗体および DAPI (青) を用いた HeLa 細胞におけるグルココルチコイド受容体 (緑) の免疫細胞化学分析